

第8回 信州 知の連携フォーラム 開催要項

1 テーマ

「楽しみ」から始めよう ―「地域を知る」ってどんなこと？

2 目 的

災害や気候変動、地域社会の存続など、現代を生きるわたしたちは、さまざまな課題を抱えています。一方でわたしたちは、先人の知恵や自然の恵みを受け取りながら、多くの危機を乗り越えてきました。先人の営みが形となった地域資源は、わたしたちの宝です。

近年、信州各地では、これらの地域資源を保全・活用する取組がさまざまな形で展開されています。そこに通底しているのは？…どうやら「楽しむ」というコトバに、ヒントがありそうです。

今回のフォーラムでは、さまざまな実践例を通じて、「楽しみ」の輪を広げていきたいと思います。

3 対 象

地域資源の発見や保全、活用について、興味のある人はどなたでも

4 主 催

県立長野図書館

5 共催

長野県立歴史館、長野県立美術館、信州大学附属図書館、信州アーツカウンシル

5 期 日

令和6年11月1日(金) 13:00～16:30

6 会 場

- ・ 県立長野図書館 3階 信州・学び創造ラボ（募集定員：40名・要申し込み）
- ・ YouTubeによるライブ配信（お申し込み不要・人数制限はありません）

7 プログラム(案)

時間	内容
12:30	受付開始
13:00～13:10	開催挨拶・趣旨説明：森いづみ(県立長野図書館長)
13:10～14:10	基調報告「文化財保全活動の楽しみ方 ―地域資料保全有志の会の取組―」 白水智氏（中央学院大学教授） 栄村地域史料保全有志の会は、2011年の長野県北部地震をきっかけに発足。古文書・民具・考古を中心に、文化財保全活動を継続しています。人が交流し、地域史料の集積や情報発信の拠点となる歴史文化館「こらっせ」も実現しました。長く継続する秘訣は「楽しむ」ことです。食の楽しみや、語り合う楽しみの中から、専門性を超えたつながりが広がった13年間の軌跡を振り返り、文化財保全活動の楽しみ方・続け方を語っていただきます。著書『古文書はいかに歴史を描くのか―フィールドワークがつなぐ過去と未来』もぜひご一読ください。史料保全活動の実際が解りやすく、古文書が災害からの復興に役立ったエピソードには、感動させられます。
14:10～14:40	事例報告「東伊那区誌『峯高く』編さんから広がる地域の活性化」 春日由紀夫氏（駒ヶ根市東伊那公民館 館長） 福澤浩之氏（伊那市立高遠町歴史博物館 学芸員） 松原洋一氏（長野県南信工科短期大学校 教授）

	150周年を迎える駒ヶ根市東伊那では、区誌『峯高く』の編さんが進行中。地域をよく知る人、古文書が読める人、デジタルに強い人など、得意分野を活かしながら、デジタル化した地域資料と区誌と紐付ける「ハイブリッド風土記」を目指されています。「東伊那再発見講座」では、地域ならではの知識を深める体験イベントも多数開催。多方面に広がる生き生きとした活動の楽しさを、それぞれのお立場から報告いただきます。「区誌編さん便り」もぜひご覧ください。
14:40～15:00	休憩
15:00～15:30	事例報告「環境変化を民話で楽しく学ぶには？～演劇とパフォーマンス～」 姫凜子氏（ちいさがた未来民話研究会 代表） 過去の気候変動に関わる民話の調査や、近年の環境変化で市井の人々に起こった出来事を採集、演劇や音楽で新しい民話を創作・発表しています。本から学ぶのは少しハードルが高いですが、演劇なら若い世代の人にも、見てもらいやすく、伝わりやすい。「伝承」で大切なのは「面白さ」や「楽しさ」です。10月開催の「鳴動～音が伝える災害の警鐘」公演も、ぜひ併せてご覧ください。
15:30～16:20	質疑応答・パネルディスカッション 司会：森いづみ（県立長野図書館長）
16:20～16:30	閉会挨拶：笹本正治（長野県立歴史館特別館長）

9 申込

WEBフォームからお申し込みください。

10 会場（県立長野図書館）へのアクセス

JR長野駅 東口より徒歩約10分

※詳細な地図は当館ホームページ【所在地・連絡先】をご覧ください。

<https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/info/access.html>

11 その他

本イベントは、「信州発・これからの図書館フォーラム」（主催：県立長野図書館）、「図書館職員等人材育成研修会」（主催：県立長野図書館、長野県図書館協会）を兼ねています。

12 関連情報・イベント（フォーラムと併せて、ぜひご参加ください）

- 栄村文化財保全活動掲示板 <https://shiryouhozen.apage.jp/>
 - ・11月2日（土）「越後妻有 大地の芸術祭」における講演会@アケヤマー秋山郷立大赤沢小学校
 - ・11月3日（日）古文書講座@栄村（外の方も参加可能な場合は併せて広報）
- 駒ヶ根市東伊那区誌 <https://www.facebook.com/p/100075835033049/>
 - ・藤森照信先生講演会（駒ヶ根市出身の建築家伊藤文四郎）（チラシをいただいたら広報！）
- ちいさがた未来民話研究会 <https://www.facebook.com/cm.k.minwa/>
 - ・「鳴動～音が伝える災害の警鐘」
10月13日（日）@きこりの家（南木曾町）、10月27日（日）@奏の森（中川村）

【お問合せ】県立長野図書館総務企画課

担当：千川

〒380-0928 長野市若里1-1-4

TEL:026-228-4939

e-mail:naganotoshokan-kikaku@pref.nagano.lg.jp

※信州 知の連携フォーラムとは：

「信州 知の連携フォーラム」は、信州大学附属図書館、長野県立歴史館、長野県立美術館、県立長野図書館により、「信州における価値ある地域資源をデジタルで共有化し、新たな知識化・発信によって、地域住民の学びを豊かにし、地域創生につなげていく」ことを目的として、2016年に発足しました。

議論と実践を重ねる中で、博物館・美術館(Museum)、文書館(Archives)、図書館(Library)のみならず、大学等の研究機関(University)、劇場ホール(Theater)、地元企業(Industry)、個人を含むさまざまな地域コミュニティ(Community)や公民館(Kominkan)、学校(School)など、地域資源にかかわる全てのステークホルダーとの連携を深めていくことの大切さが見えてきました。そこで、2024 年 2 月に発出したミッションステートメントでは、「MALUTICKS 連携」として協働することを提唱しています。

<https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/now/mezasukoto/torikumi/mlaforum.html>